



安城市議会議員 石川つばさ通信 号外 市政レポート

マイナンバー取得“強制” 職員の取得率急伸

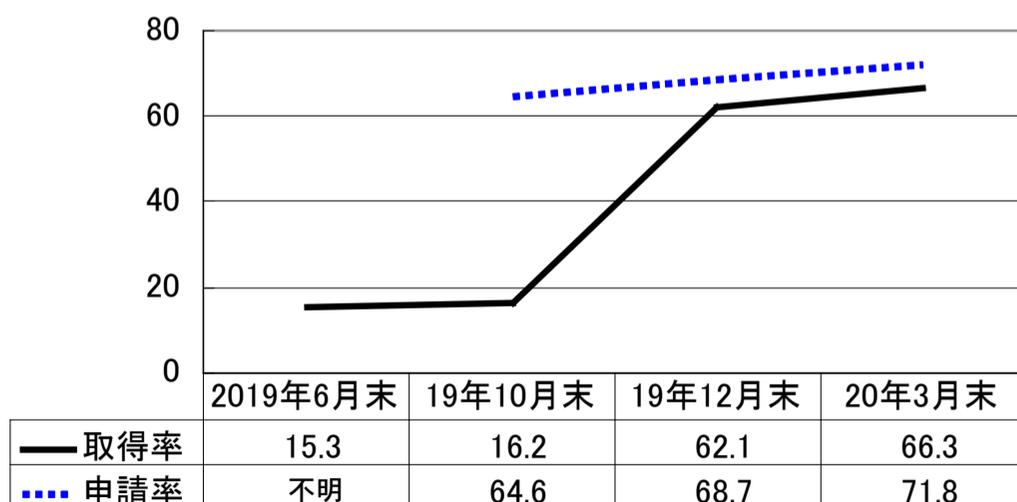
昨年度、市職員(市内在住者に限る)のマイナンバーカード取得率が急激に伸びたことが分かりました。昨年 6 月末時点で 15.3%だった取得率が、今年 3 月末時点では 66.3%まで増加しています。半数以上の職員が、この 9 カ月の間に取得したことになります。

背景には、国の“依頼”という名の“強制”があります。市の説明によれば、昨年 6 月 28 日に総務省から都道府県・政令指定都市に対し、「地方公務員等のマイナンバーカードの一斉取得の推進について」との通知が出され、同 7 月 5 日に愛知県から県内市町村に対し、一斉取得推進の通知がされたとのことです。簡単に言ってしまえば、進まぬカード普及の打開策として、まずは公務員に強制的に取らせてしまおうという内容です。

これを受け市は、同 9 月に一斉取得の申請受付の機会を設け、職員に取得を促したとのことでした。これにより、職員のカード取得率は急激な伸びを示しました(表参照)。本来、カード取得は個々が判断する問題で、人に指図されるものではありませんし、職務上必要な事項でもありません。そもそも、取得率を職場が把握しているということは、個々の職員に対し、取得済みか否かの調査をしているということであり、それ自体が暗に「取得しろ」という圧力になります。

今年 5 月には、山梨県甲州市の消防本部で、課長が部下に対してカード取得を強制したことが問題となりました。結局はその行為がパワハラと判断され、課長は訓告処分を受けることになりました。この様に、職務上必要でなく、個人の領域に関する事柄に職場や上司が口出しすることは、それ自体がグレーな行為です。まして、職員本人だけでなく、その家族にまで取得を促すことは直ちに改めるべきです。

表 市内在住職員のカード申請・取得率の推移 (単位：%)



※申請から取得まで一定のタイムラグが生じる。10 月末段階で、申請率と取得率が大きく乖離していることから、先述した 9 月の機会に多くの職員が申請したことが読み取れる。

石川翼事務所 446-0072 安城市住吉町荒曾根 1-245 アワーズビル 2F 南
電話 0566-98-6932 メール ishikawa2011@aria.ocn.ne.jp

編集：石川つばさを支援する会